

# 若いなかま

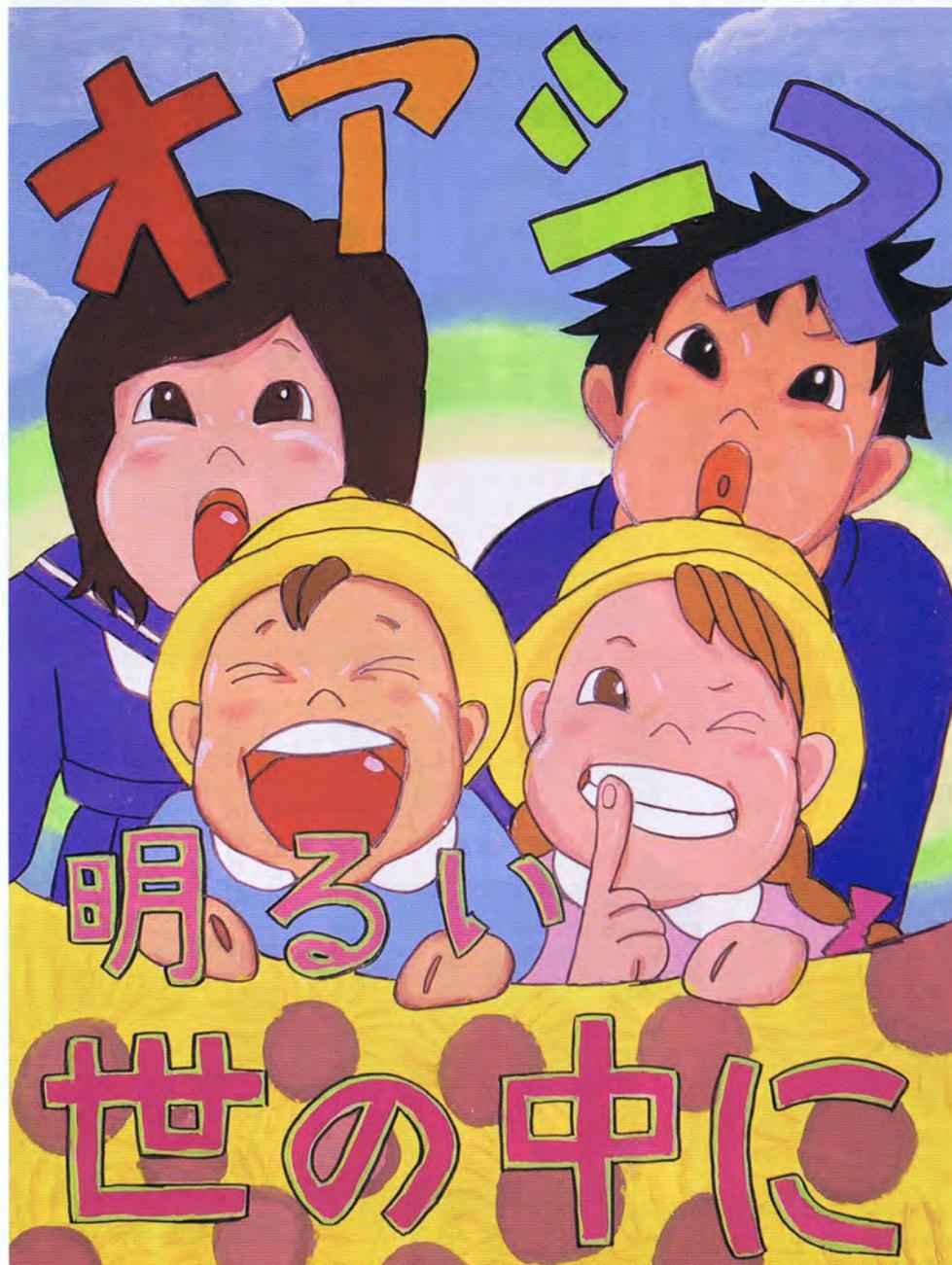
発行 福岡県青少年育成県民会議

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13番50号  
吉塚合同庁舎6F

TEL(092)643-6001 FAX(092)643-6003

E-mail : net.y.d@isis.ocn.ne.jp

ホームページ : http://www.fayd.jp/



平成23年度「家庭の日」「オアシス運動」ポスターの部 最優秀作品  
中間市立中間東中学校1年 木村 直偉さんの作品

## 目次

平成24年度通常総会開催	2
青少年育成活動で表彰	3
永年賛助会員に感謝状贈呈	4
平成24年度事業計画	5

特集 岡垣町通学合宿「夢の体験塾」のとりくみ	6
地域の話題	7
事務局だより	8
赤えんぴつ	8

### 福岡県青少年育成県民会議は、

- ・青少年自らが、次代を担う誇りと責任を自覚し、未来をきりひらき、希望に満ちて生きるように
- ・すべての大人が姿勢を正し、青少年に深い関心と理解を持ち、積極的に青少年の育成に努めるように
- ・県の青少年施策が一層の効果をあげるよう、相互の連携を図り、総合的、計画的な活動ができるようにとの願いをこめ、根づよく効果のある県民運動を展開することを目的に結成されました。

# 福岡県青少年育成県民会議

## 通常総会開催される

とき／平成24年5月30日 ところ／ホテルレガロ福岡

### 青少年と社会のニーズに 適切なる対応を！



福岡県青少年育成  
県民会議会長  
右田 喜章 氏

地域に根ざした青少年健全育成運動に取り組んでいる91名の会員出席のもと（委任状46名）、24年度の総会が、去る5月30日に開催された。

丸林茂夫県民会議副会長の開催のことばから始まり、右田喜章会長挨拶、来賓の海老井悦子福岡県副知事と岩元一儀福岡県議会新社会推進商工委員長の祝辞に続き、青少年育成団体（者）の表彰、永年賛助会員への感謝状贈呈が行われた。

議事は、清水正信県民会議副会長のもと、活動報告、収支決算、事業計画等、全ての議案が満場一致で承認された。

総会の最後にあたり、福岡県警察本部少年課の小柳裕嗣少年健全育成室長より少年非行の概況資料による実態の説明がなされた。

今日の青少年の状況は、多くの青少年が将来に大きな夢を抱きながら個性や能力を磨き、自らの目標に向かって明るく健やかに成長しているが、一方で人間関係の希薄化とか規範意識の低下など、非社会的問題行動も多く見受けられることが実態である。

近年急速な少子化の進行や、就業形態の多様化、情報化社会の進展によって、若者を取り巻く環境も大きく変化している。

特に問題となっている親による「虐待」「育児放棄」などで児童養護施設に入所する子ども達が、バブル崩壊以後増加しつつある。

この原因の一つには最近、近所付き合い合いがほとんどなく、地域で孤立している姿が浮かび上がっているという報告もある。

これは現代社会のありように大きな問題があるのではないか、反面いろいろな形で絆がより一層重要になってきているのではない

かと思っている。

私たち青少年健全育成に携わるものは、これまで以上に活動の輪を広げ、ネットワークを広げていく必要がある。

急激に変化する時代の青少年のニーズ、社会のニーズを的確に把握し、適切なる対応を図るために国や県の取り組みと歩調を合わせて、市町村民会議の皆さんと一緒にこの運動を進めていきたい。

### 教育力向上に取り組み 非行防止と 立ち直り支援の強化を！



福岡県副知事  
海老井 悦子 氏

福岡県では、本年3月に青少年健全育成条例を一部改正し、青少年を危険から守るため、携帯電話のフィルタリングサービス解除手続を厳格にするなど、規定の整備を行った。

先日「青少年アンビシャス運動」の応援大使として宇宙飛行士の若田光一さんに就任いただいたが、若田さんは、「好きな飛行機の仕事に向けて、努力した結果、宇宙飛行士につながった。子ども達も自分の興味がどこにあるのかをとらえて、一人ひとりがいろんな目標に向かって頑張ってもらいたい」と話された。

子ども達は大きな可能性を秘めている。その子ども達が豊かな将来に向かって夢や希望を育みながら、たくましく成長していけるように福岡県は、学校、家庭、地域、企業が一体となった二つの県民運動「教育力向上福岡

県民運動」と「青少年アンビシャス運動」を展開している。

教育力の向上では、各市町村にモデル校を一校作り、学校独自に設定した課題や目標に向かって、子ども達が頑張っていく、そして目標を達成していくことに対して大いに普めていこうという事業だ。

また今年度から新たに非行少年の居場所作り、就労の機会の拡大などにも取り組み「非行防止プロジェクト」を立ち上げ、青少年の非行防止と立ち直り支援も強化したい。

### 青少年の健やかな成長を 支援し、各種施策の充実を！



福岡県議会新社会  
推進商工委員長  
岩元 一儀 氏

明日を担う青少年が、豊かな社会性と優れた創造力を培い、自ら考え、責任を持って行動出来る人間として成長していくことは県民の全ての願いである。

近年、携帯電話、インターネットなど情報メディアの発達や、少子高齢化の進展、核家族化、雇用形態の多様化等、青少年を取り巻く社会環境は、大きく変化し、家庭や地域の教育力の低下による子ども達の規範意識やコミュニケーション能力の低下など、憂慮すべき問題が指摘されている。

県議会としても、皆様方や県と共に、青少年の健やかな成長を支援していくための各種施策の充実に向け、今後とも鋭意取り組んでいきたい。

# 永年のご活躍に感謝をこめて 表彰状 感謝状が贈られる！



永年表彰を受けた3団体、6個人の皆様

毎年、通常総会の開催の前に、永年にわたり、青少年育成に活躍、尽力された団体・個人に対する表彰状と永年賛助会員に対する感謝状が贈られる。  
 今年は、6個人と3団体に表彰状が贈られ、2団体・8個人に感謝状が贈られた。  
 永年賛助会員感謝状は30年の部に医療法人社団高邦会高木病院、10年賛助会員の部には粕屋殖産株式会社  
 に感謝状が贈呈された。個人の部では10年賛助会員8名の方に贈られた。表彰された団体・個人の方々の功績を紹介する。

## ◆個人表彰◆

☆田中 陽子氏 活動年数：33年  
 (北九州市)

昭和54年より平成6年の間、地域子ども会、PTA会長などの役員として子どもたちの世話や指導者の育成に努めた。  
 北九州市青少年育成市民会議副会長、会長などの役員として市民会議の運営に永年携わり、青少年育成活動に貢献されている。

☆田川 強氏 活動年数：16年  
 (久留米市)

平成8年から旧北野町の青少年健全育成校区民会議事として育成活動の中心的存在として活動。久留米市に合併後も久留米市青少年育成会議の理事として活動。  
 永年にわたり青少年の健全育成活動に貢献され、地域活動の在り方やリーダーとしての活動は他の範となるものである。

☆厨くりや 孝氏 活動年数：19年  
 (久留米市)

平成5年から、旧北野町青少年健全育成町民会議副会長として育成活動の中心的存在として活動。久留米市に合併後も市民会議の理事として活動。永年にわた

り地域で取り組む育成活動に積極的に取り組まれそのリーダーとして貢献され、市民会議活動の充実発展のために尽力されている。

☆江内えないだ田壽一氏 活動年数：19年  
 (行橋市)

平成5年から校区子ども会育成連合会役員。平成16年からは会長として子ども会の諸活動を通して青少年の健全育成、非行防止活動に深い理解と情熱をもって活動し、その熱意と積極性は関係者から高い評価を得、永年にわたり、青少年育成活動に貢献されている。

☆下田 稔氏 活動年数：18年  
 (飯塚市)

平成6年から鎮西地区青少年健全育成会入会、平成12年から20年まで飯塚市青少年健全育成会連絡協議会専務理事、平成21年からはNPO法人飯塚市青少年健全育成会連絡協議会副理事長などの要職に従事。青少年の健全育成と非行防止に尽力され豊富な経験と知識を生かした指導により、多数の青少年を善導され、地区はもとより飯塚市の青少年の育成に大きく貢献されている。

☆石田 實氏 活動年数：11年

(岡垣町)

平成13年から平成23年まで岡垣町通学合宿「夢の体験塾」塾長として、町内4年生〜6年生を対象に寝食を共にし、指導、育成にあたられ、「夢の体験塾」の発展に寄与された。平成17年から22年までは、海老津小学校区の育成会議会長として重鎮的な役割をになって、青少年の育成に貢献された。

◆団体の部◆

◎鞍手町子ども会連絡協議会

代表者：遠藤 康彦

昭和35年から現在に至るまで地域の教



育の向上及び子ども会活動の活性化に向け、地域と連携し青少年の育成を推進。野外生活研修は42年連続して実施しており、「子どもフェスタ・くらて」は子ども自身による企画・立案・運営をしている。この活動も9年間継続中である。これらの継続した活動は青少年の健全育成に多大な貢献、功績があるものである。

◎福智町青少年育成町民会議

代表者：田中 和敏

昭和61年の旧方城町、旧金田町、旧赤池町の町民会議として発足以来、各町民会議として青少年健全育成運動を推進し、平成18年に3町の合併に伴い、福智



町町民会議を設立した。引き続き現在に至るまで、長きにわたり、青少年健全育成のため、「私たちの主張」大会、夏季・冬季自然体験学習、夜間補導活動など数多くの事業を実施し、その内容は他の市町村の模範となるものである。

◎糸田町青少年健全育成推進会議

代表者：内丸 英敏

昭和57年の設立当初より現在に至るまでの永きにわたり、糸田町少年の主張大会、青少年の集い（キャンプ）、「いとだつ子」の健全育成講演会、推進広報誌の発行などの活動を実施し、青少年の健全育成運動に多大な貢献をしている。



◆永年賛助会員へ感謝状◆



永年賛助会員の表彰を受けられた2団体の代表者

今年度の永年賛助会員は文頭にも紹介したように2団体と8個人に感謝状が贈られた。2団体の代表者には石田喜章会長から感謝状が贈られた。また個人の永年（10年）賛助会員は左記の方々である。

- 菊次 和夫氏 ・ 力丸 敏光氏
- 早川 良子氏 ・ 石川 治夫氏
- 江川 洋氏 ・ 岡松 直昭氏
- 丸山美恵子氏 ・ 原 明義氏

賛助会員の皆様には日ごろより多大なご支援とご理解をいただき心より感謝申し上げます。これからもよろしくお願いたします。

# 平成24年度事業計画

主題テーマ「大人が変われば、子どもも変わる」

## 1. 活動支援連携事業

- 地域連携推進事業（九州ブロック研修会）
  - ・日時（予定） 平成24年7月～9月
- 市町村民会議会長・事務局長・青少年育成運動推進指導員合同会議
  - ・日時（予定） 平成25年2月
  - ・会議内容 研修及び情報交換
- 九州各青少年育成県民会議九州地区会議
  - ・日時（予定） 平成24年10月



少年の主張福岡県大会（H23）

## 2. 青少年健全育成事業

- 少年の主張福岡県大会
  - ・日 時：平成24年8月19日(日)
  - ・場 所：太宰府市中央公民館
  - ・県内全域の中学生から作文を募集、審査の上15名程度が県大会で発表
- 少年の野外学習事業
  - ・日 時：平成24年8月1日(水)～5日(日)※4泊5日
  - ・場 所：国立阿蘇青少年交流の家（熊本県阿蘇市）
  - ・小学校5・6年生、中学生を対象にした野外訓練  
－異年齢での活動を軸にした野外体験学習－
- 福岡県民さわやかマラソン大会
  - ・日 時：平成24年11月18日(日)
  - ・場 所：海の中道海浜公園（福岡市）
  - ・小学生から大人まで参加でき、学年別に競技
- 青少年囲碁交流事業
  - ※福岡県大会 ・日 時：平成24年8月18日(土)
  - ・場 所：福岡市パピヨン24ガスホール
  - ※中国江蘇省交流大会（江蘇省） 日時及び場所は未定
- 青少年育成指導者研修会 日時及び場所は未定



少年の野外学習事業（H23）



福岡県民さわやかマラソン（H23）



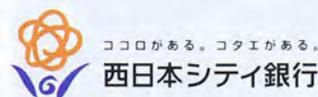
青少年囲碁交流事業（H23）

## 3. 健全な家庭づくり推進事業

- 「家庭の日」「オアシス運動」の推進
  - ・作品（ポスター・作文）の募集
  - 募集期間：平成24年8月1日(水)～9月24日(月)
  - 最優秀作品・優秀作品の展示
- 親子教室事業
  - ・指定継続 広川町（3年目）、大川市（2年目）
  - ・新規指定 糸島市
- 乳幼児教育研修会
  - ・日 時：平成25年2月5日(火)
  - ・場 所：クローバープラザ
  - ・基調講演、実践事例発表、研究討議



いつもそこに、いつでもそばに。



## 岡垣町通学合宿 「夢の体験塾」のとりくみ



岡垣町は、北九州市と福岡市とのほぼ中間にあり、北は響灘、三里松原、西は湯川山があり、緑豊かな田園風景に囲まれた豊かな地域です。

本号では特集として岡垣町で取り組まれている、通学合宿「夢の体験塾」を取り上げました。

昭和61年4月、町民会議の1つの事業として、2泊3日の「ジュニアリーダーキャンプ」が校区育成会議、町民会議、有志のボランティアを中心に企画・運営されました。

10年間続いた「リーダーキャンプ」を平成9年度から通学合宿「夢の体験塾」として再出発しました。この体験塾の目的は、「子ども達が家庭から離れ、集団生活をしながら共通の生活体験を行い、基本的な生活習慣や直接体験の不足を補い、さらに主体的・自主的に行動できる資質や能力を育てるとともに、塾生相互や高齢者とのふれあいを含め、友人や家族の大切なことを再認識させること」です。

平成9年度第1回目は、戸切小学校6年生を対象に、6泊7日でスタートしました。

翌年からは拡大して、町内5小学校の4～6年生の男女を対象に、7泊8日を1回として、計5回実施し、年ごとに回数を増やしていきましました。23年度は9回実施し、125名の子どもたちが体験しました。

これまでの15年間で、1000名以上の子どもたちが体験しました。

活動内容は、波津海岸にある若潮荘内の宿泊施設に寝泊まりしながら、児童が自ら考え、体を動かし、汗をかいて協力して共同生活を送り、平日は町のマイクロバスを利用して各小学校に通います。

休日の主な活動内容は、

- 一、生活体験（調理・掃除・洗濯・畑作業等）
- 二、生の自然体験（磯遊びや生き物観察等）
- 三、遊び体験（小学校体育館での軽スポーツ等）
- 四、郷土の遺跡探索（成田山散策・古墳公園等）

です。特に、磯遊びでは、海岸線に子ども達の大きな声が響いています。小魚・貝殻・かに等を膝まで水につかり一生懸命、夢中になってとっています。たまにはタコが捕れることがあります。これらの体験活動を、実行委員を中心にボランティア、地域の大人達が支援しています。子ども同士、子どもと大人のコミュニケーションの中から、人間関係を学び、深め、また生の自然に触れることにより「自然や命」の大切さを見つめ直すことも目的の1つになっています。

1回の構成として異学校、異学年、男女別で約15名が参加し、調理班、作業班、掃除班の3班に別れます。調理班は調理、配膳、後片付け等。作業班は畑の水やり、雑草取り、お宮掃除、朝の体操のリーダー等。掃除班は、寝室、便所、廊下、食堂の掃除、洗濯等の仕事があり、毎日担当を変えて班長を中心に活動しています。畑で取れるキュウリ等季節によって色々な野菜を子ども達が収穫し、食材にしています。

生活リズムとしては6時起床、洗顔等、食事、登校、下校、体験活動、ミーティング、就寝となっています。慣れない、疲れる、眠い児童がいて、学校の事後アンケートに授業中に居眠りをする事があったので、現在は原則9時就寝になっています。

この体験塾の期間中に町長、教育長の講話があり、岡垣町の話し等を聞いています。

また、木曜日に隣の八幡屋の満海の湯の招待を受け、ジェットバス、海水風呂、ピンク色のワイン風呂等の色々な風呂を体験して良い思い出になっています。

22年度の塾生のアンケートでは、①参加

してよかった（九二・六％） ②参加理由では自分の希望（六八・九％）親にすすめられて（二二・一％） ③友達ができた（九六・七％） ④途中で家に帰りたいと思ったでは、よくあった、たまにあったと合わせて（二八・八％） ⑤また参加したい（六六・一％）という結果になっています。

保護者のアンケートでは、①自分から進んで手伝いをする ②今までさせたことのないトイレ掃除などする ③一人で起きれるようになった ④料理に関心を持つようになった ⑤集団生活の大変さを感じ、あまり無理なことはいわなくなつた ⑥他の学年・学校の友達とも仲良く遊ぶ姿を良く目にするようになった等、色々な意見が寄せられたようです。また、参加するにあたって、どんなことを期待しましたかでは、①自分のことは自分の責任でやり遂げる力をつける（自立心）（二七・三％） ②色々な体験をする（一九・三％） ③友達を作る。と他人と協力し、協調性を養う（各一〇・二％）だったそうです。

今後は支援者アンケートの結果も整理し、参加者、保護者のアンケートをもとに、各々の対策を行い、更に効果のある体験塾にするよう頑張っていきたいとのことでした。あるスタッフの方が「この体験塾を長く継続していき、塾生が大きくなり、その子ども達がこの夢の体験塾に参加する日が楽しみですよ」と語っていた日が必ず来ることを心より応援しています。



## 地域とともに育てあう

### 水巻町「ふれあいガーデン」

★水巻町青少年育成町民会議★

水巻町の小学校の花壇には色とりどりの花や植物が咲き誇り、季節の移り変わりを楽しませてくれる。

その植物たちは特別支援学級の児童と地域のボランティアが共同で手入れを行っている。世代間の交流をしながら、地域ボランティアの方々も花壇の手入れに訪れるたびに、子どもたちの小さな成長に目を細め、まるで本当の家族のように会話を弾ませている。本会議では世代間交流の希薄が叫ばれている中で、こうした取り組みを通して異なる世代の絆づくりに努めている。



## 第15回香春町「少年の主張」大会

★香春町青少年育成町民会議★



香春町青少年育成町民会議では、青少年が日頃考えていること等の発表を通じて青少年の健全育成に対する理解と協力を深めることを目的として毎年12月に香春町「少年の主張大会」を開催しています。15回目となる平成23年度の大会は町内6つの小中学校から2名の代表者により大勢の観客の前で経験したことや普段考えていることを発表しました。田川地区大会の選考も兼ねているこの大会ですが、参加した児童生徒全員が日頃の成果を発揮していました。香春町民会議では少年の主張大会のほかにも町内小中学校での声

## 地域の話題

いろいろな地域で独自の活動を  
紹介するコーナー。  
今回は以下の3地域です。

掛け運動やすこやかマラソン大会なども実施しています。これからも青少年の健やかな成長を見守り、少しでもその手助けになるよう取り組んでいきたいと思えます。

## 乗車マナー向上キャンペーン

★行橋市青少年育成市民会議★

当市民会議では毎月1回JR行橋駅構内で乗車マナー向上キャンペーンを行っています。月の第2金曜日の午前7時30分から一時間程度、補導部員が乗降客とあいさつを交わしながらポケットティッシュを配布しています。ポケットティッシュの中には電車内での携帯の使用や車内での座り込み乗車など、乗客に迷惑をかける行為はやめようというチラシを入れています。乗客の皆さんは気持ちよく受け取っていかれます。

乗車マナーが少しずつでも向上してくれるようになればと、部員一同頑張っています。



## 福岡県非行少年を生まない社会づくり ネットワーク会議をご存知ですか？

福岡県非行少年を生まない社会づくりネットワーク会議では、関係機関・団体と連携して

- 少年に手を差し伸べる立ち直り支援活動
- 少年を見守る社会気運の醸成

を柱とした、情報発信やキャンペーン活動、問題を抱えた少年の立ち直り支援活動などを通じて、非行少年を生まない社会づくりを推進しています。

※(社)福岡県青少年育成県民会議も構成員として活動しています。

お問合せ先 福岡県警察本部生活安全部少年課  
TEL 092-641-4141 (内3093)

